



フィルタリングで子供を守る対策を

フィルタリング・ペアレンタルコントロールの設定を

フィルタリング

インターネット上の有害な情報から子供たちを守るために性的、反社会的な情報等が含まれたサイトを選別し、閲覧できないようにするサービスです。
子供たちに悪影響を及ぼす有害なサイトをブロックして閲覧できなくすることができます。

ペアレンタルコントロール

子供によるパソコンやスマホ等の情報通信機器、ゲーム機の利用について、親がその利用を制限する取組のことです。
機器等により使用できるソフトウェアの制限や使用時間の制限、使用したソフトウェアの記録等ができるものもあります。

SNSに起因する被害児童の約9割がフィルタリングを利用していませんでした。
フィルタリングは**保護者が子供を守る手段**です。責任をもって設定することが大切です。

わかりやすくなったフィルタリング

- 大手携帯電話3社などでは、「あんしんフィルター」という名前で提供しています。
- 設定が簡単に
フィルタリングサービスやアプリには、「小学生モード」「中学生モード」など年齢等によるわかりやすい推奨モードが設けられています。設定はそれらを選択するだけです。
 - Wi-Fi等にも対応
 - 利用時間やアプリ制限可
カスタマイズ機能を活用すれば、きめ細かく設定できます。LINEやTwitter等のアプリもフィルタリングしたまま利用できます。
利用時間設定で、スマホやアプリ等が利用できる時間（長さ）や時間帯を設定することができます。

スマホだけでなく、ゲーム機やタブレット、子供に貸すことのある大人用のスマホやおさがりの機器等にも、ペアレンタルコントロールを忘れずに！



親子でスマホ利用について考えよう

家庭で決めよう！使い方ルール【参考例】

- ① 夜10時以降は使用しない。ゲームとネットを合わせて、1日〇時間とします。
- ② 家の中ではリビング以外では使用しません。
- ③ 自分や友達の個人情報や、写真をネットに公開しません。
- ④ 自分が言われて嫌なことや、誹謗中傷の投稿をしません。
- ⑤ メールやSNSは、実際に会ったことのある友達だけにします。
- ⑥ ネットやSNSで知り合った人とは直接会いません。
- ⑦ ネットに公開するときは、送信前に内容をしっかり見直してから送信します。
- ⑧ 自分のIDやパスワードは他人に絶対教えません。
- ⑨ 分からない時や変だなと感じた時は、そのままにせず保護者に相談します。



白撮り!

ゼツタイ!



違法ダウンロード

ながらスマホ

誹謗・中傷

インターネットの危険から子供を守ろう!

個人情報流出

ネットの長時間利用

デジタルタトゥー

不適切動画の投稿

加害者・被害者にならないために

- ◎自撮り画像は撮らない！送らない！
県青少年健全育成条例により、青少年に対して児童ポルノに相当する自撮り画像を要求する行為を禁止しています。
- ◎フィルタリングは必ず利用しましょう！
青少年が携帯電話端末等を使用する場合は、法律に基づき、原則としてフィルタリングサービスを利用しなければなりません。
フィルタリングを有効にすることが、子供を犯罪から守ります。
- ◎家庭で決めよう！スマホの使い方のルール



和歌山県PRキャラクター「きいちゃん」



絶対ダメ！自撮り！（被害事例）

事例① 自分の裸画像を SNS に掲載

女子高校生が投稿している SNS で「いいね！♡」が欲しくて自分の裸画像を載せた。



事例② 交際相手に裸の写真を拡散された

信用していた彼氏から「裸の写真を撮って送って」とお願いをされ、断り切れず送ってしまった。その彼氏が、その写真をクラスの男子に転送し、さらにネットで拡散された。



自撮り被害が多く発生！

事例③ ネットで知り合った男に裸の写真を要求された

女子中学生がネットの掲示板で知り合った男とメールを交換。愚痴を聞いてもらううち「顔を見たい」と言われて顔写真を気軽に送った。
次に制服姿を要求され、連絡を切られなくなかったので送った。その後、下着姿の要求を断ると、「家や学校に押しかける！」などと脅され、写真を送ってしまった。その後、さらに裸の写真まで要求されるようになった。

事例④ ネットで知り合った男に裸の写真を送信後、画像を拡散すると脅迫された

「人気アーティストのライブに行くお金が欲しい」という女子高校生のネット上のつぶやきを加害者の男が見つかる。男から「裸の写真を送ってくれたら、お金をあげるよ」と言われた女子高校生は、写真を送信。
今度は交際を申し込まれ、拒否すると男の態度が豹変し、「写真をばらまかれなくなかったら言うことを聞け」と脅された。



自撮り画像被害がもたらす危険性

デジタルタトゥー

ネットに出回った情報はすべてを削除することは不可能であり、将来にわたり苦しめられる。

二次被害の恐れ

画像をもとに脅迫等され、金銭の要求や性被害などの重大な事件に発展する。



撮らない！

自分の裸や下着姿などをスマホで撮ったり、他人に撮らせてはいけません。



送らない！

そのような画像は、たとえ家族や友達、恋人であっても送ってはいけません。



ネットには危険がいっぱい！！

ネットいじめ

ネット上の文字だけでの会話では、相手に気持ちが正確に伝わらず誤解を招き、思わぬトラブルの引き金となる場合があります。また、心ない言葉が相手を傷つけたり、「いじめ」につながったりすることがあります。



ながらスマホ

スマホを操作しながら歩く、自転車に乗るなどの「ながらスマホ」により、他人にケガをさせたり、尊い命を奪ってしまったりして、高額な損害賠償を請求される重大な事故も発生しています。



誹謗中傷、悪ふざけ投稿

- 友達・学校・親などに対する暴言や 誹謗中傷
- 問題のある撮影画像の投稿
 - ・ 許可を得ていない人がうつっている写真や動画
 - ・ 授業中の撮影投稿
 - ・ 迷惑行為、危険行為
 - ・ 成績表、順位表、クラス名簿
 - ・ アカウントの QR コード など
 - ・ アルバイト中の不適切動画の投稿

※ 損害賠償の請求やネットの「炎上」により動画が拡散され、投稿者やその家族が多くのことから非難を受けたりすることがあります。



違法ダウンロードに注意！

インターネット上に違法に掲載された「海賊版」だと知りながら漫画、音楽、映像などの著作物をダウンロードすることは、**個人で楽しむものであっても違法**です。



ゲーム上のトラブル

ゲームを有利に進めるため、甘い誘いから、他人にIDとパスワードを教えてしまい、ゲームを乗っ取られてしまいます。また、乗っ取ったIDでその人になりすまし、知り合いをだますようなトラブルも増えています。自分のうっかりが、周囲に迷惑をかけてしまいます。



ゲーム障害の危険性！

ゲーム障害の定義

- ゲームの頻度やプレイ時間などのコントロールができない
- 日常生活や他の関心事よりゲームを優先する
- (人間関係や健康などで) 問題が起きてもゲームを止めない

これらの症状が1年以上継続または繰り返されると**ゲーム障害と診断**

※2019年5月世界保健機構(WHO)が「ゲーム障害」を新たな国際疾病分類と認定

<ゲーム障害の主な行動傾向>

- ・ 朝起きられない
- ・ 昼夜逆転の生活
- ・ 学校や会社を休む
- ・ ものを壊す
- ・ 家族に暴力をふるう



スマホの使い過ぎによる生活や体調への支障



友人とのトークを終わらせるタイミングがわからず、夜遅くまでスマホを使う毎日

遅刻や授業中居眠りするようになり、体調や成績にも影響が出ているのですが、友人とのトークがやめられない



スマホの使い方の見直しやアプリごとの時間制限など、**時間管理機能を上手に活用しましょう！**